

# 第 352 回金沢眼科集談会

## ～杉山和久教授ご退任記念～

日 程：令和 6 年 4 月 7 日（日）10:00～13:00

会 場：ホテル日航金沢（金沢市本町 2-15-1 TEL：076-234-1111）

※現地開催のみの予定です

### 【参加方法】

- ・ 事前登録の必要はございません
- ・ 参加費は 3,000 円です  
当日会場にて現金でのお支払いをお願い致します

### 【取得単位について】

- ・ 本会は専門医制度障害教育事業（No.59003）として認定されており、参加者は 1.5 単位を取得できます

### 【情報交換会について】

- ・ 講演会終了後、情報交換の場をご用意させていただいております

-次回ご案内-

令和 6 年 12 月 15 日（日）10:00～13:00

ANA クラウンプラザホテル金沢

共催：金沢眼科集談会 参天製薬株式会社

## <プログラム>

特別講演① 10:00～10:45

座長：杉山 和久 先生

「[ゆっくり解説]緑内障手術治療 2024 金沢眼科集談会スペシャル！」

福井大学眼科教授 稲谷 大 先生

特別講演② 10:45～11:30

座長：東出 朋巳 先生

「黄斑疾患の治療アップデート」

富山大学眼科教授 林 篤志 先生

---<休憩：15分>---

特別講演③ 11:45～12:30

座長：小林 顕 先生

「環境温度と白内障」

金沢医科大学眼科教授 佐々木 洋 先生

退任記念講演 12:30～13:00

「眼科医人生 40 年を振り返って—そして新たな門出へ」

金沢大学眼科教授 杉山 和久 先生

日本眼科学会生涯教育事業申請中

共催：金沢眼科集談会

参天製薬株式会社

## 特別講演① [ゆっくり解説]緑内障手術治療 2024

金沢眼科集談会スペシャル！

福井大学眼科 教授 稲谷 大 先生

眼圧が正常範囲で推移する開放隅角緑内障患者で視野障害がゆっくり進行する症例の手術適応に関して、クリニックの先生方からご質問を頂戴することが多い。トラベクレクトミー（線維柱帯切除術）を実施して眼圧を下降させれば、視野維持効果が理論上得られるはずだが、過剰濾過による合併症や術後乱視による視力障害、はたまた眼圧が期待通りに下がらない症例もあり、実臨床ではなかなか手術に踏み切れない場面も多い。

特に、高齢者に対するトラベクレクトミーは不可逆に視力低下を引き起こすリスクが高く、術後の白内障も頻発し、点眼治療をこのまま継続するよりも、かえって視機能を悪化させてしまうという報告もある。

低侵襲緑内障手術（minimally/micro-invasive glaucoma surgery; MIGS）に分類される新しく登場した緑内障手術は、白内障手術との相性がよく、白内障手術と同時に行うことで、高齢者の術後視機能を改善させるとともに眼圧下降が得られるメリットがあるため、近年急速に普及してきている。さらに最近では、トラベクレクトミーに代わる術式選択として、低侵襲な濾過手術も登場してきており、術後の視力低下を回避できる術式になる可能性がある。本講演では、眼圧下降よりもむしろ術後の視機能に着目して解説を行い、さらに、これまで、金沢大学と一緒にやってきた手術治療の共同研究の内容を杉山和久教授との過去の写真と一緒に振り返ってみたい。

## 特別講演② 「黄斑疾患の治療アップデート」

富山大学眼科 教授 林 篤志 先生

近年の網膜硝子体分野の進歩は著しく、OCTやOCTアンギオグラフィーなどの診断機器の進歩によるところも大きい。それらにより、詳細が不明であった眼底疾患、特に黄斑部疾患について詳細に画像化できることにより、その病態理解が深まっている。その上で病態に即した治療法の開発が行われている。現在、滲出型加齢黄斑変性などには、抗VEGF薬が第一選択の治療となっているが、新たな治療薬も出てきており、それらの効果について検証が必要であり、現時点での抗VEGF薬の使い方についてお話ししたい。

そして、手術治療では、低侵襲硝子体手術の進歩と病態理解により、手術適応も増え、手術成績が向上している。今後、硝子体手術にロボットによる補助を取り入れることでさらに進歩していくと思われる。それらの可能性についてお話ししたい。

網膜中心動脈閉塞症は、未だ治療法のない予後不良の疾患であるが、新たな治療の可能性を探るため基礎研究を行っており、それについてもご紹介したい。

